



朝のさわやかあいさつ

生活委員会の提案で、12月は全校で登校時のあいさつ運動を実施しました。正門(1年生)、西門(2年生)、生徒玄関(3年生)の3か所に分かれて、さわやかなあいさつの声が聞こえました。正門側の東中前通りでは、1年生とバレーボール部と柔道部の部員たちも毎朝元気にあいさつをしてくれました。集団登校中の東小児童と東中学生徒が笑顔であいさつを交わす、とてもほほ笑ましい光景も見られました。



赤い羽根募金 東中に善意の輪

12月第3週は生徒玄関前で、サンタの帽子を被った新生徒会役員(矢野 愛華 生徒会長)が「赤い羽根共同募金」を呼びかけました。募金をするとコインがもらえ、ガチャ玉に挑戦できます。そこで当たった飾りを、玄関前のクリスマスツリーにみんなで飾りました。東中に生徒と先生方の善意の輪が広がり、寒い朝でも温かく明るい雰囲気をつくれました。1週間で合計49,296円が集まりました。この善意のお金は、近日生徒会役員が高鍋町社会福祉協議会へ届けさせていただきます。



授業公開

12月2日(水)に本校で授業公開を行いました。午前中は町・県教育委員会による訪問、午後からは町内3校の小・中学校の先生方、高鍋高校及び児湯るぴなす支援学校、町内学習塾など教育関係の方々約200名が来校され、授業参観をしていただきました。授業参観後は、昨年度から本校が取り組んできた研究について発表した後、教科部会に分かれて授業研究や協議等を行いました。



「生徒たちが集中して元気よく取り組んでおり、先生方の熱心な授業に進んで参加している様子が印象的で、大変参考になった。」

「授業に積極的に取り組む姿勢や態度など、小学校の頃より子どもたちが学習面でも大きく成長している様子を見ることができてとてもうれしかった。」など、有り難いご意見をたくさんいただきました。

東小6年生と交流



12月10日(木)に、東中2年生が高鍋東小学校を訪問して6年生児童と交流しました。生徒会役員が東中の校風などについて説明したり、2年1組生徒が「東中校歌」を披露し、6年生児童とも一緒に歌ったりしました。中学生と入学前の6年生児童の温かい交流ができました。

まつうらみくに 松浦三州文庫

松浦三州先生は、高鍋東中学校の第2代の校長先生(昭和30年度～35年度)であり(その後高鍋高校でも校長をされています。)、東中の最も古くからの伝統である「静止黙想」を行い、東中の校歌を作詞された先生です。この度、松浦先生のご長女の永井伊佐子様ご家族から、松浦先生が生前に読まれていた本を東中に寄贈されました。今回寄贈していただいた多くの本を、「明倫堂文庫を学ぶ会」のご協力をいただき、「松浦三州文庫」として図書室隣の部屋の書棚に陳列させていただきました。



中学生には難しい本もありますが、本を開くと、大事なところに赤線が引いてあったりして、本で学ばれた「跡」が残されています。ご家族からは「その雰囲気だけでも感じとって、これからの読書につなげてもらえればと思います。」とお話がありました。

また、12月1日(火)には、ご家族と「明倫堂文庫を学ぶ会」の関係者が来校され、永井伊佐子様から「東中の図書充実のために役立ててほしい」と金一封をいただきました。